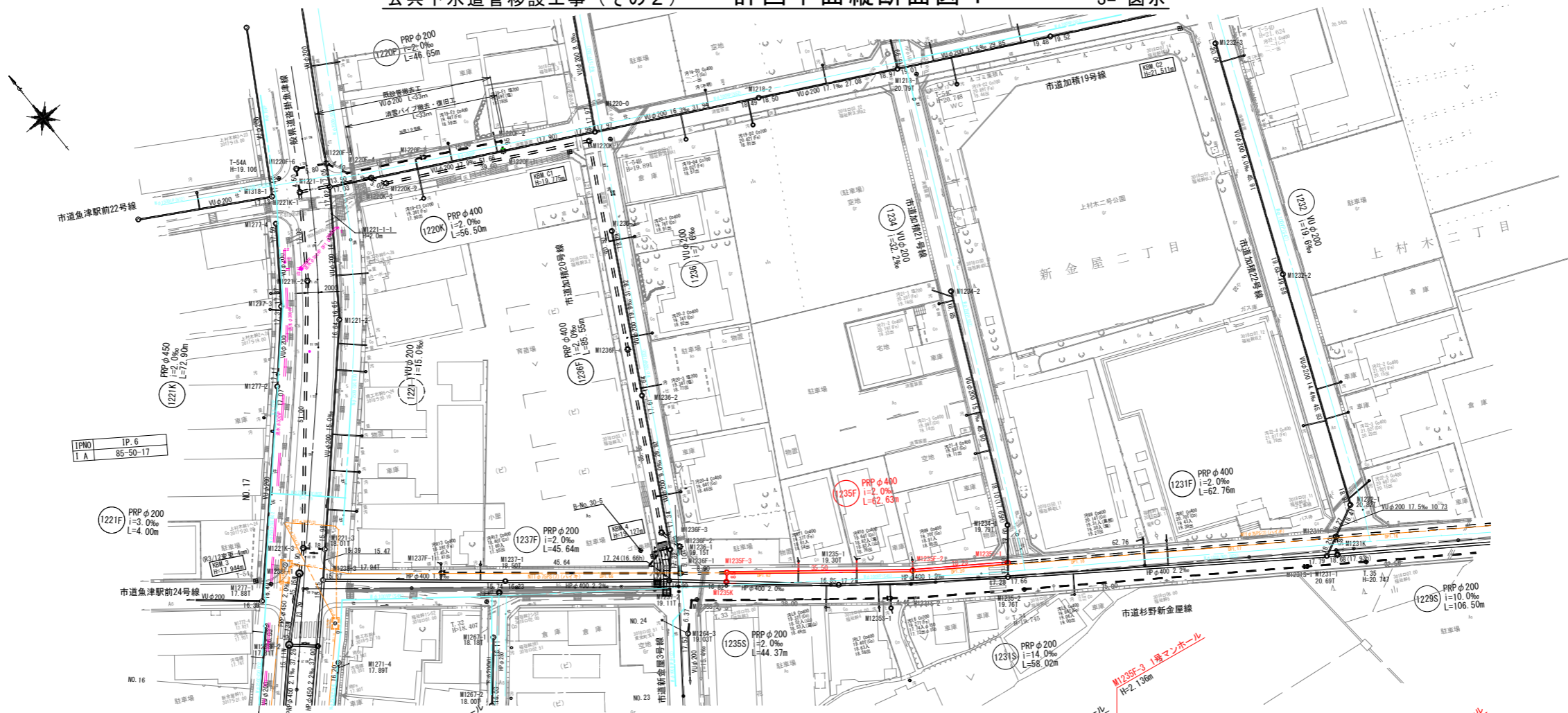


平面図 S=1/500

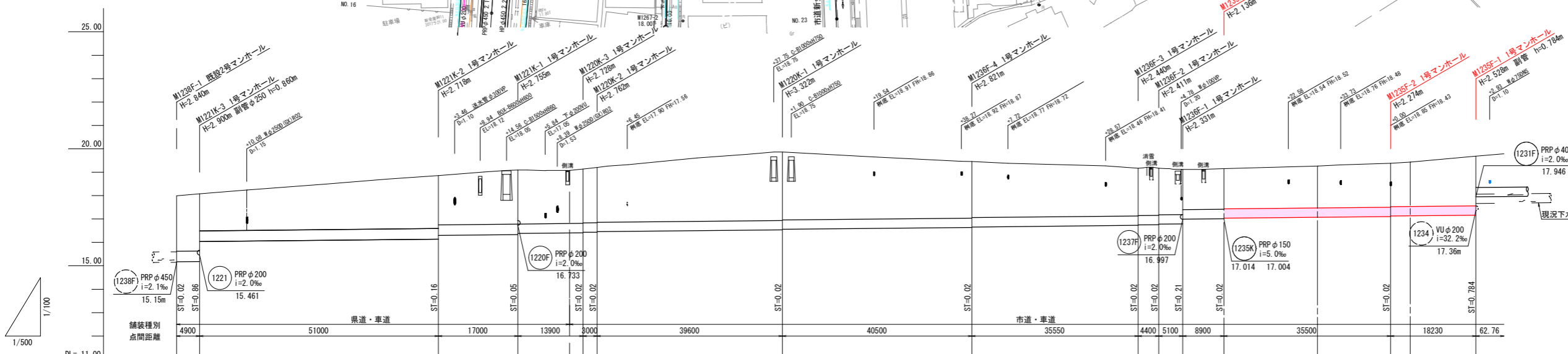
鴨川河川改修放水路工事に伴う  
公共下水道管移設工事(その2)

計画平面縦断面図 1

S= 図示



縦断面図 V=1:100 H=1:500



管番号 管径・勾配	1221F PRP φ450 i=2.0‰ L=72.90m		1220K PRP φ400 i=2.0‰ L=56.50m		1236F PRP φ400 i=2.0‰ L=85.55m		1235F PRP φ400 i=2.0‰ L=62.63m		1231F PRP φ400 i=2.0‰ L=62.76m	
掘削深	2.97	3.05	2.97	2.86	2.96	2.96	2.49	2.49	2.89	2.89
土被り	2.37	2.45	2.16	2.30	2.04	2.01	1.87	1.85	2.12	2.12
管底高	15.170	15.180	16.307	16.335	16.639	16.750	17.014	17.134	17.462	17.462
地盤高	17.99	18.08	18.86	19.09	19.46	19.17	19.15	19.38	19.69	19.69
追加距離	0.00	4.90	55.90	72.90	129.40	169.90	223.85	259.35	277.58	277.58
マンホール番号	M1238F-1 M1221K-3	M1221K-2 M1221K-1	M1221K-1 +11.01 M1220K-3 M1220K-2	M1220K-1	M1236F-4	M1236F-3 M1236F-2 M1236F-1	M1235F-3 (NO.21) NO.22	M1235F-2 NO.23	M1235F-1 NO.24	

- 凡例
- 施工箇所
  - 移設済下水道管
  - 現況下水道管
  - 上水道管
  - NTTケーブル
  - 計画下水道管

※標高は、鴨川放水路工事管理標高  
(標高 + 0.072m = 魚津市管理標高)

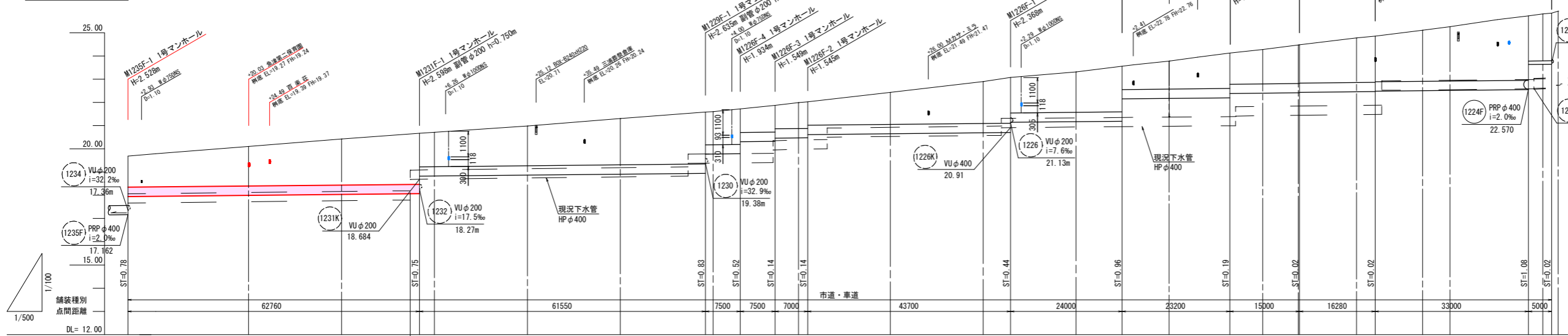
令和4年度	
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事(その2) (管路番号)
工事場所	新金屋二丁目 地内 縮尺 H=1:500 V=1:100
図面名	計画平面縦断面図 1
課長	係長
設計	製図
製図	図面番号
	1
魚津市上下水道局上下水道課	

鴨川河川改修放水路工事に伴う  
 公共下水道管移設工事(その2) 計画平面縦断面図2 S= 図示

平面図 S=1/500



縦断面図 V=1:100  
H=1:500



管番号 管径・勾配	掘削深	土被り	管底高	地盤高	追加距離	マンホール番号
1235F PRPφ400 i=2.0‰ L=62.63m	1.90	1.34	17.945 17.958	19.09	277.56	M1235F-1 NO.24
1231F PRPφ400 i=2.0‰ L=62.76m	2.75 2.00	2.20 1.44	17.995 18.038	20.67	340.34	NO.25 NO.26
1229F PRPφ400 i=2.0‰ L=61.55m	2.79 1.96	2.23 1.41	18.072 18.822	20.67	401.89	M1231F-1 NO.27
1226F PRPφ400 i=2.0‰ L=65.70m	2.95 1.71 1.70 1.56	1.63 1.01 1.15 1.01	18.945 19.771 20.321 20.480	21.58 21.72 21.87 22.02	409.39 416.89 423.89	M1229F-1 NO.30 M1226F-4 NO.31 M1226F-3 NO.32
1225F PRPφ400 i=2.0‰ L=78.48m	2.52 2.08	1.96 1.52	20.660 20.712	23.07	467.59	NO.33 M1225F-1 NO.34
1224F PRPφ400 i=2.0‰ L=33.00m	2.08 1.89	1.52 1.34	21.190 22.150	23.56	491.59	M1225F-4 NO.35
1223F PRPφ150 i=4.0‰ L=5.00m	2.22 2.20	1.67 1.65	22.170 22.196	24.12	514.79	M1225F-3 NO.36
1222F PRPφ400 i=2.0‰ L=78.00m	2.54 2.52	1.98 1.96	22.396 22.411	24.48	529.79	SP.10 M1225F-2 NO.37
1221F PRPφ400 i=2.0‰ L=33.00m	2.30	2.05	22.465 22.484	24.85	546.07	M1225F-1 NO.38
1220F PRPφ400 i=2.0‰ L=33.00m	2.19 2.19	2.71 1.94	22.501 22.517	25.72	579.07	EC.10 NO.39
1219F PRPφ400 i=2.0‰ L=33.00m	2.30	2.05	22.517 22.530	25.84	584.07	M1224F-1 M1223F-1 NO.40

- 凡例
- 現況下水管
  - 上水道管
  - NITケーブル
  - 移設下水管
  - - - 移設下水管(計画)

※標高は、鴨川放水路工事管理標高  
 (標高 + 0.072m = 魚津市管理標高)

移設下水管  
 令和4年度  
 工事名 鴨川河川改修放水路工事に伴う  
 公共下水道管移設工事(その2)  
 (管径  
 番号)  
 工事場所 新金屋二丁目 地内 縮尺 H=1:500  
 V=1:100  
 図面名 計画平面縦断面図2  
 課長 係長 設計 製図 図面番号  
 2  
 魚津市上下水道局上下水道課

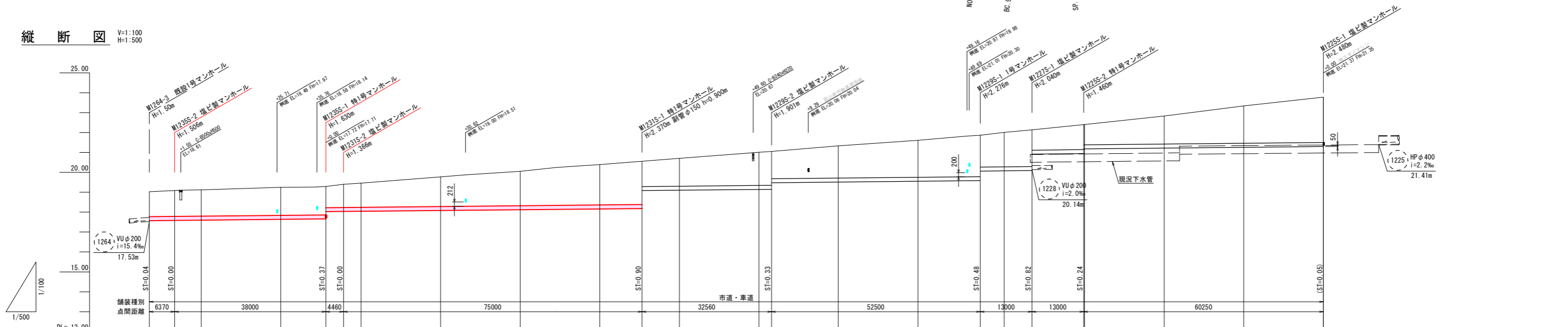
鴨川河川改修放水路工事に伴う  
 公共下水道管移設工事（その2） 計画平面縦断面図3 S= 図示

平面図 S=1/500



凡例	
—	現況下水管
—	上水道管
---	NTTケーブル
---	移設予定
---	施工箇所

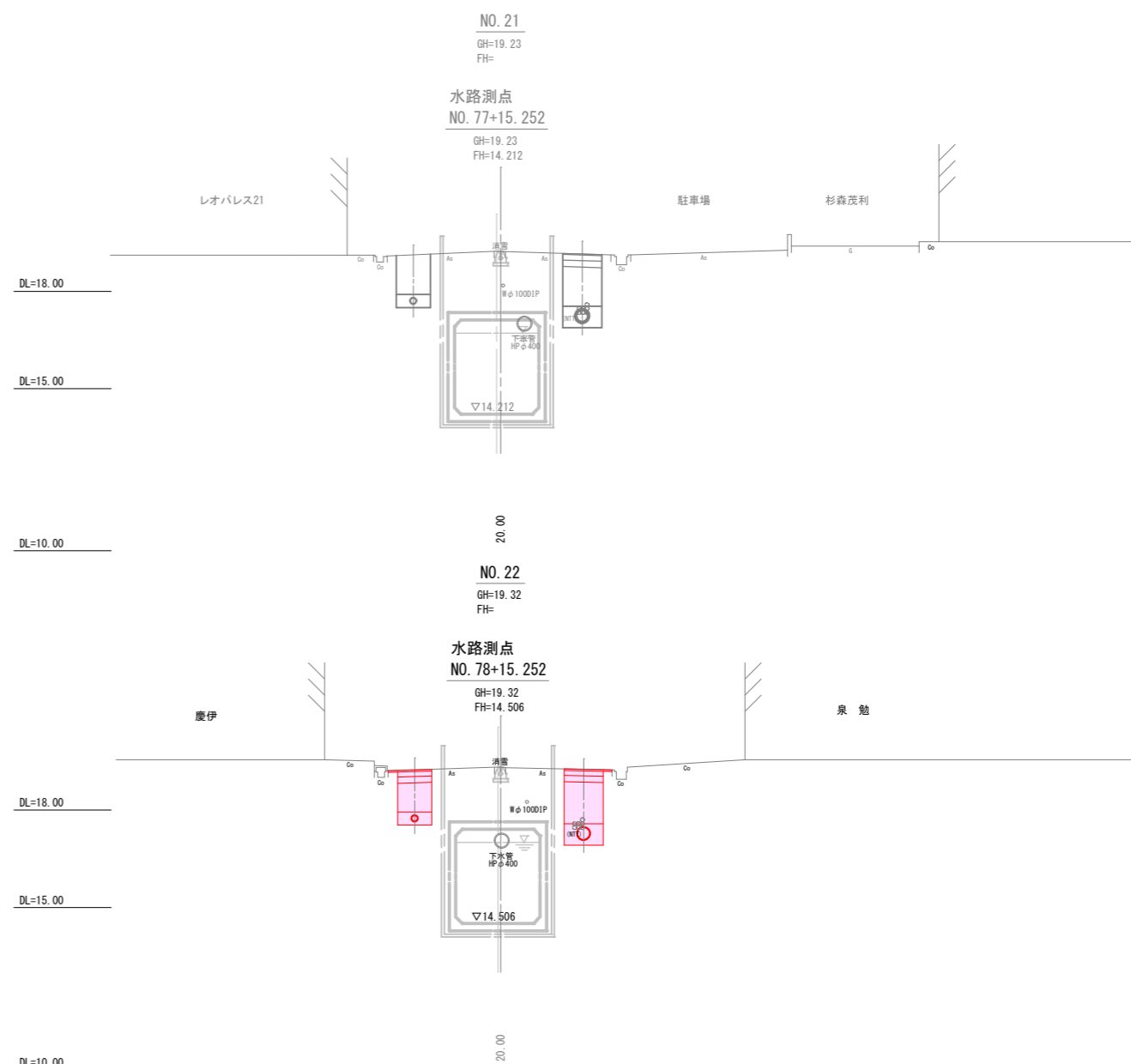
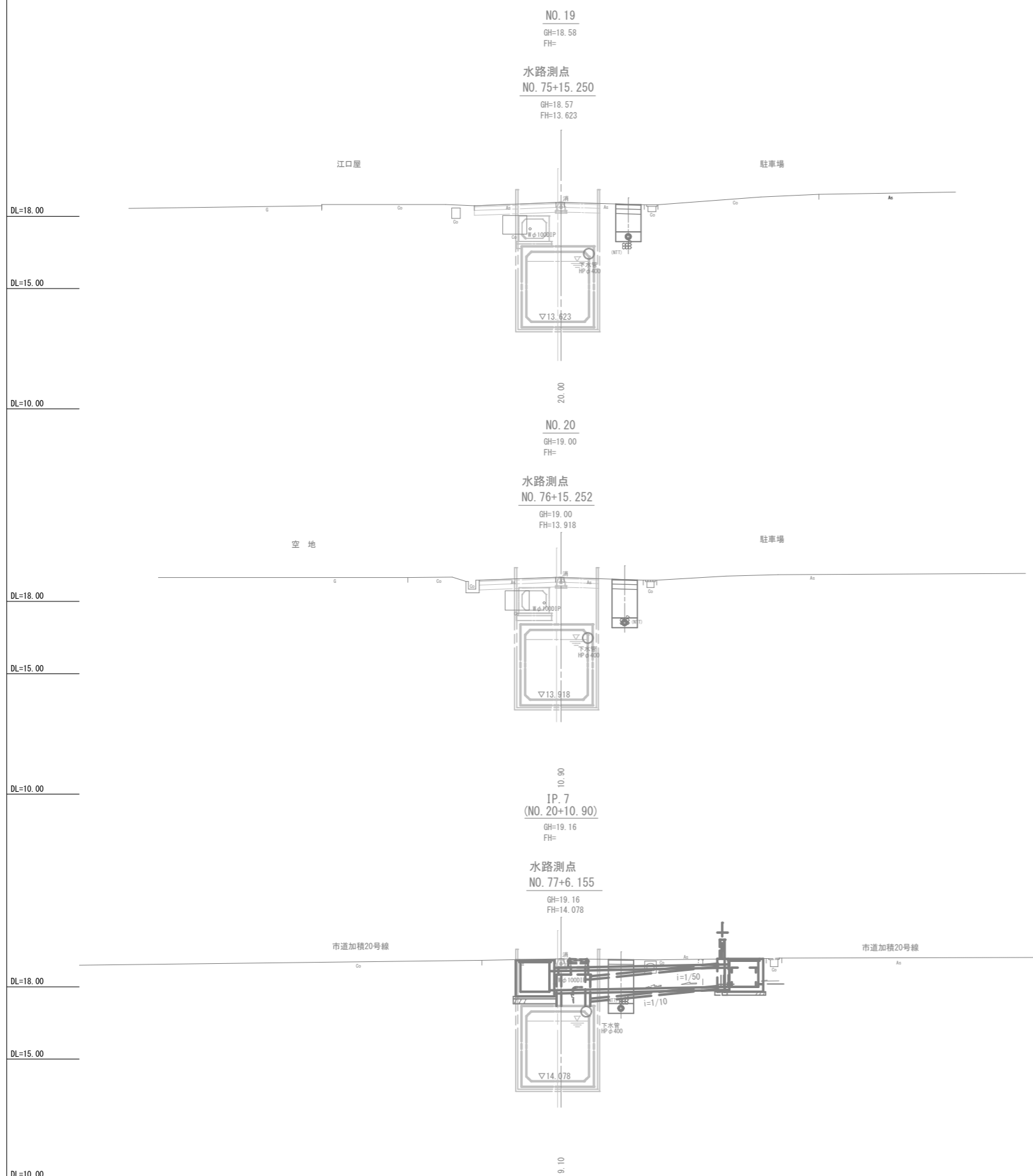
縦断面図 V=1:100  
 H=1:500



管番号 管径・勾配	掘削深	土被り	管底高	地盤高	追加距離	マンホール番号
(1235S) PRP φ200 i=2.0% L=44.37m	1.56	1.26	17.57	19.03	0.00	M1264-3 IP.7
(1231S) PRP φ200 i=2.0% L=79.46m	1.61	1.30	17.57	19.09	6.37	M1235S-2 NO.21
(1231S) PRP φ200 i=2.0% L=79.46m	1.73	1.43	17.60	19.29	44.37	M1235S-1 NO.22
(1229S) PRP φ200 i=2.0% L=85.06m	1.47	1.16	18.025	19.40	48.83	M1231S-2 NO.23
(1229S) PRP φ200 i=2.0% L=85.06m	2.46	2.16	18.082	20.55	123.83	M1231S-1 NO.24
(1227S) PRP φ200 i=2.0% L=13.00m	2.00	1.70	19.142	21.05	156.39	M1229S-2 NO.28
(1225S) PRP φ200 i=2.0% L=73.25m	1.90	1.59	19.584	21.86	208.89	M1229S-1 NO.31
(1225S) PRP φ200 i=2.0% L=73.25m	2.14	1.84	20.076	22.13	221.89	M1227S-1 NO.32
(1225S) PRP φ200 i=2.0% L=73.25m	1.56	1.26	20.846	22.40	234.89	M1225S-2 NO.33
(1225S) PRP φ200 i=2.0% L=73.25m	2.59	2.28	21.300	23.78	295.14	M1225S-1 NO.34

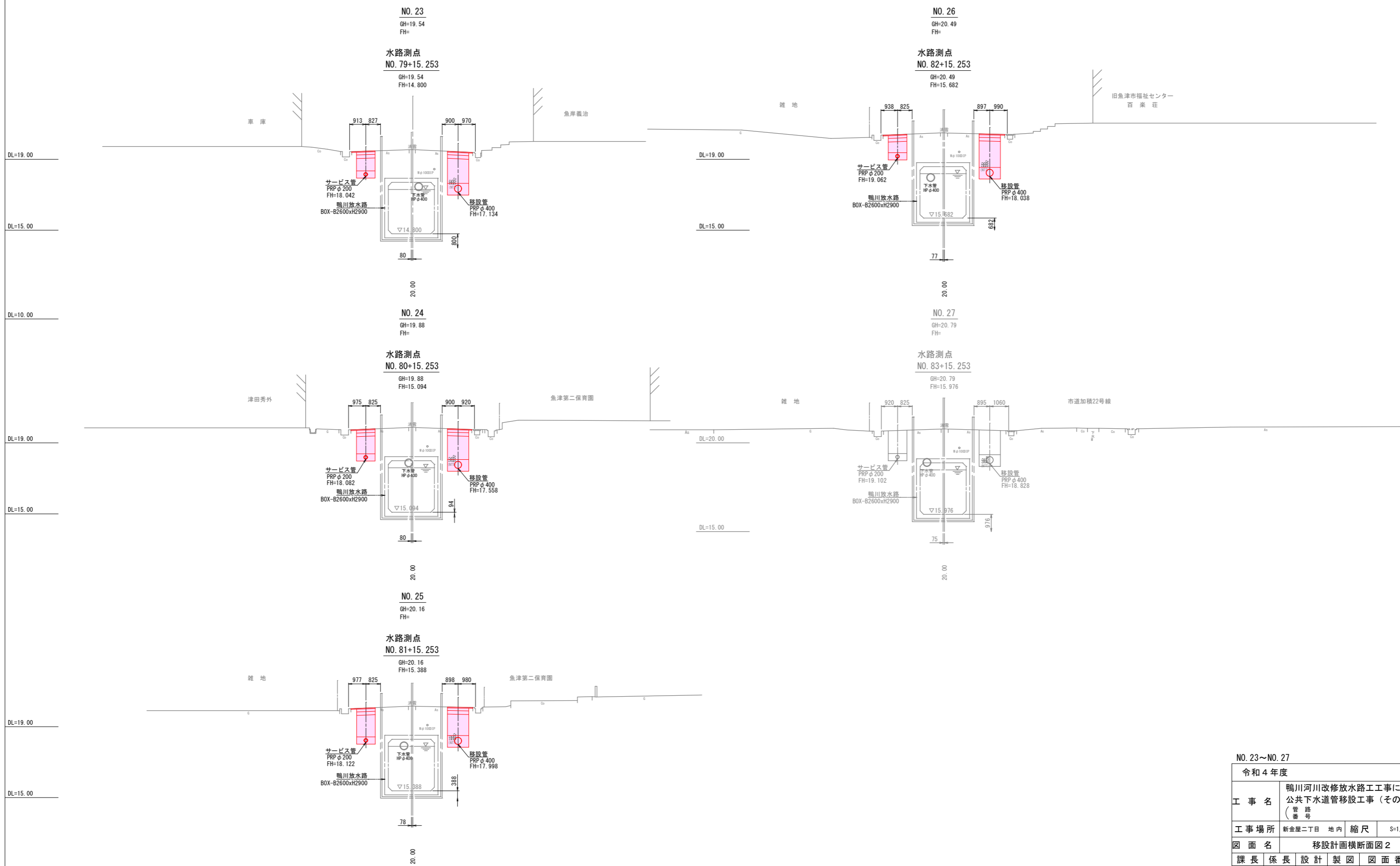
※標高は、鴨川放水路工事管理標高  
 (標高 + 0.072m = 魚津市管理標高)

移設下水管	
令和4年度	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管路番号)
工事場所	新金屋二丁目 地内 縮尺 H=1:500 V=1:100
図面名	計画平面縦断面図3
課長	係長
設計	製図
製図	図面番号
	3
魚津市上下水道局上下水道課	



NO. 19~NO. 22				
令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） （管路番号）			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S=1/100	
図面名	移設計画横断面図 2			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				4
魚津市上下水道局上下水道課				

※標高は、鴨川放水路工事管理標高  
（標高 + 0.072m = 魚津市管理標高）

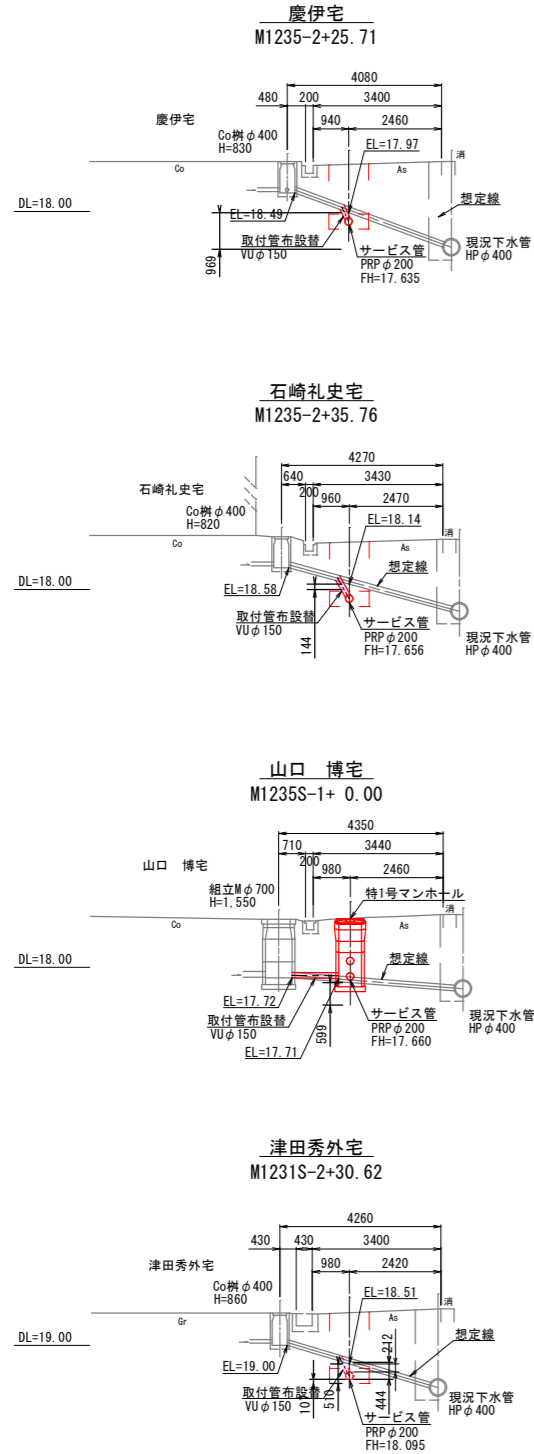


※標高は、鴨川放水路工事管理標高  
(標高 + 0.072m = 魚津市管理標高)

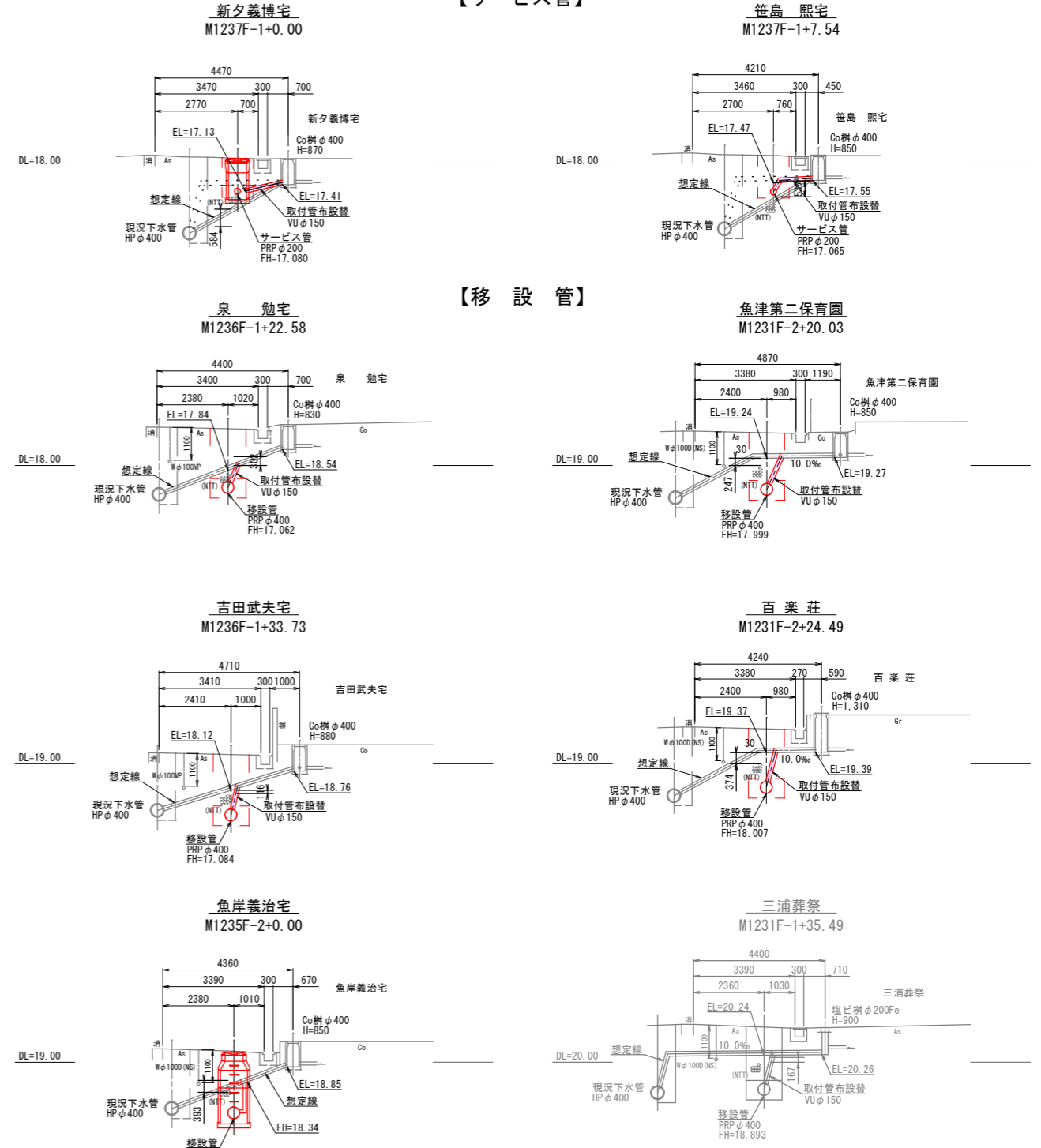
NO. 23~NO. 27			
令和4年度			
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管 路 番 号)		
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S=1/100
図面名	移設計画横断面図2		
課長	係長	設計	製図 図面番号
			5
魚津市上下水道局上下水道課			

市道杉野新金屋線

富山側  
【サービス管】



黒部側  
【サービス管】



【移設管】

市道杉野新金屋線

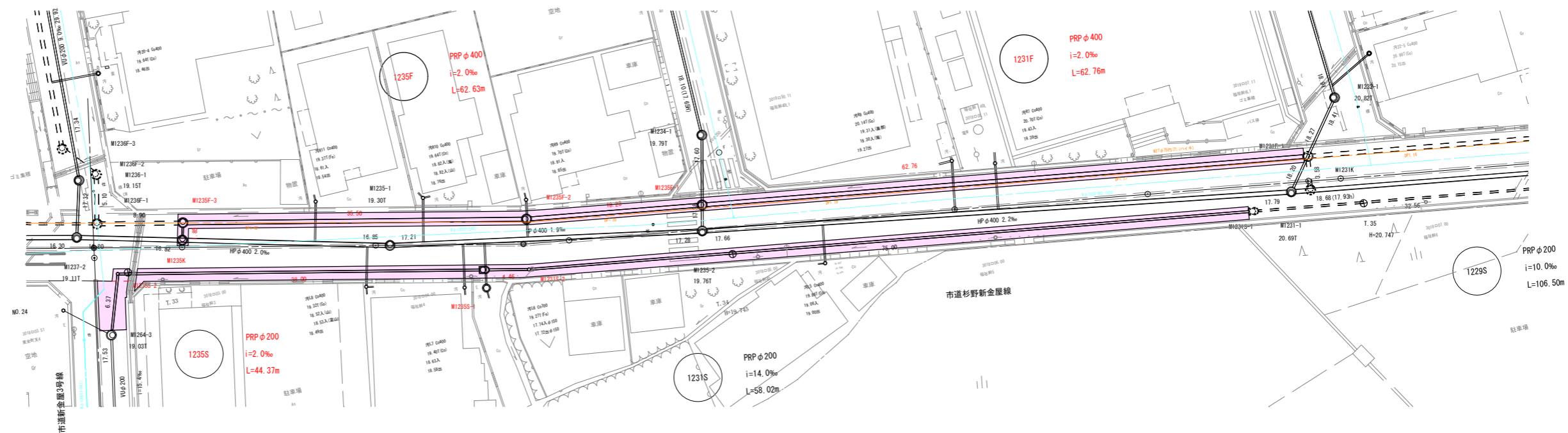
令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） （管 路 番 号）			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S=1/100	
図面名	取付管布設替計画断面図 1			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				6
魚津市上下水道局下水道課				

※標高は、鴨川放水路工事管理標高  
（標高 + 0.072m = 魚津市管理標高）



舗装工平面図

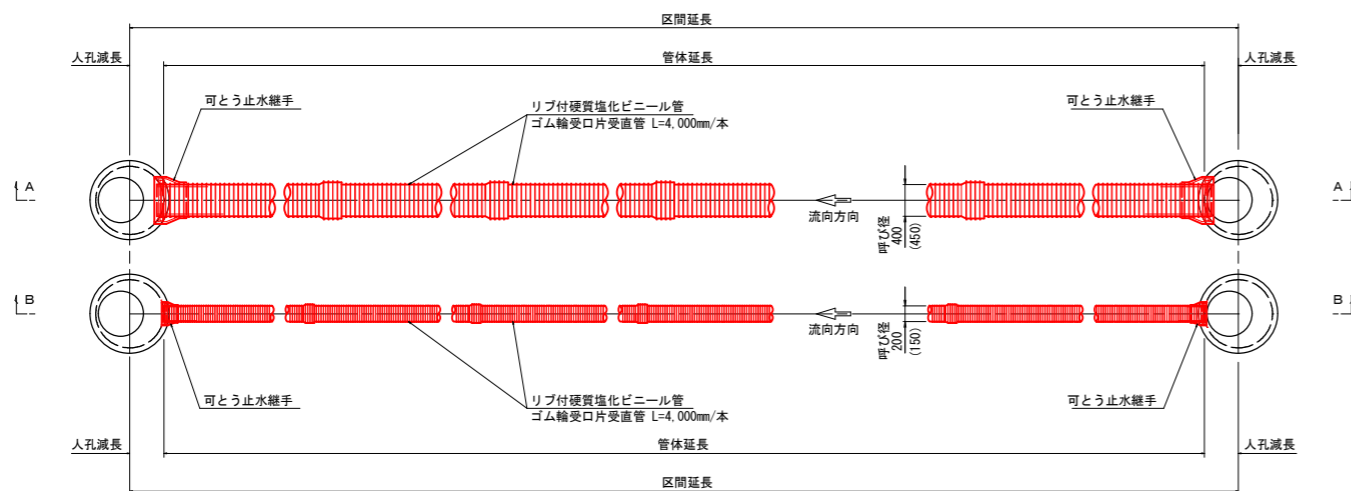
S=1/250



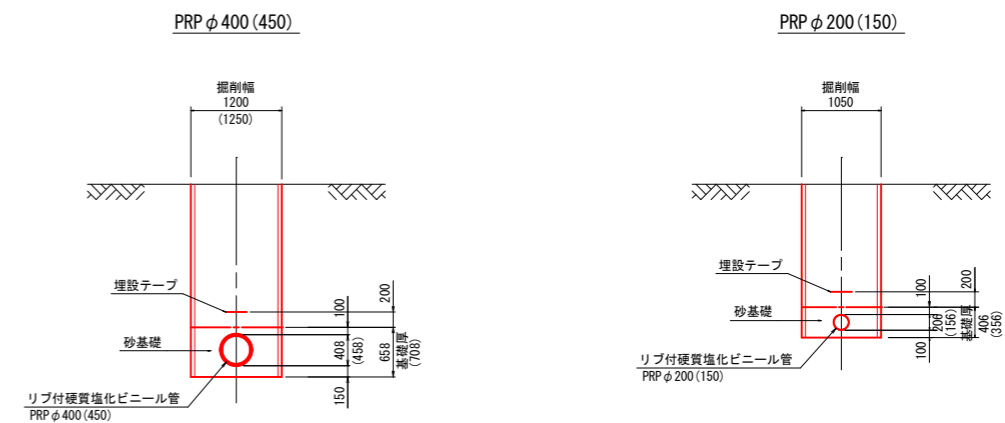
令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） （管路番号）			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	図示	
図面名	付帯工平面図			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				7
魚津市上下水道局上下水道課				

鴨川河川改修放水路工事に伴う  
公共下水道管移設工事(その2) 管渠布設工標準図 S= 図示

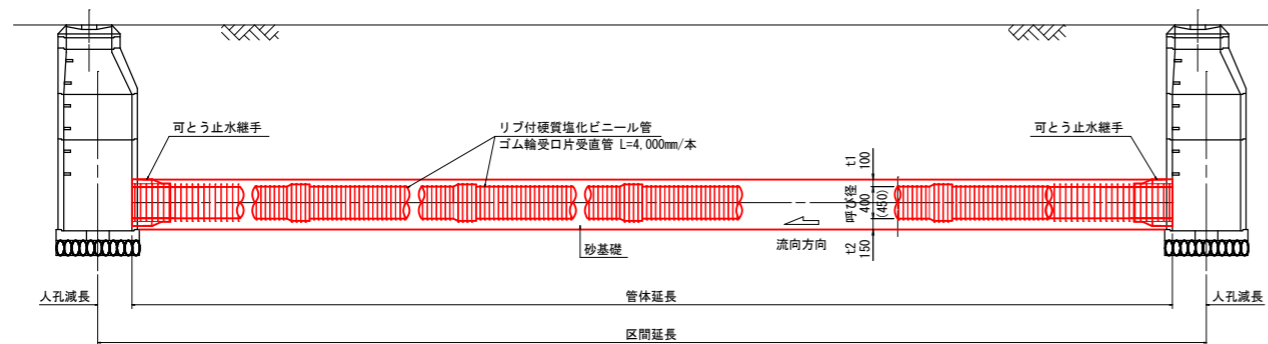
管渠布設平面図 S=1/50



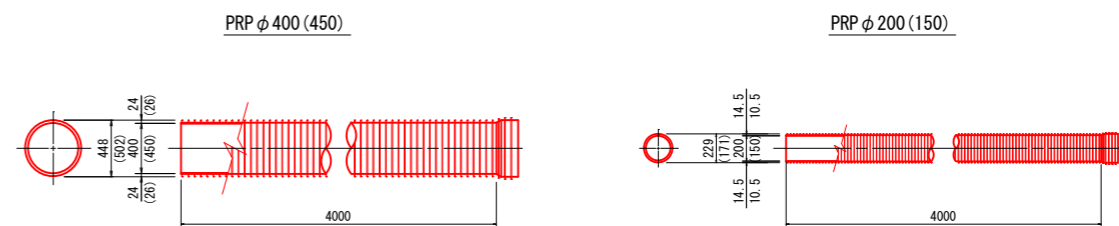
管渠布設断面図 S=1/50  
(リップ付硬質塩化ビニール管)



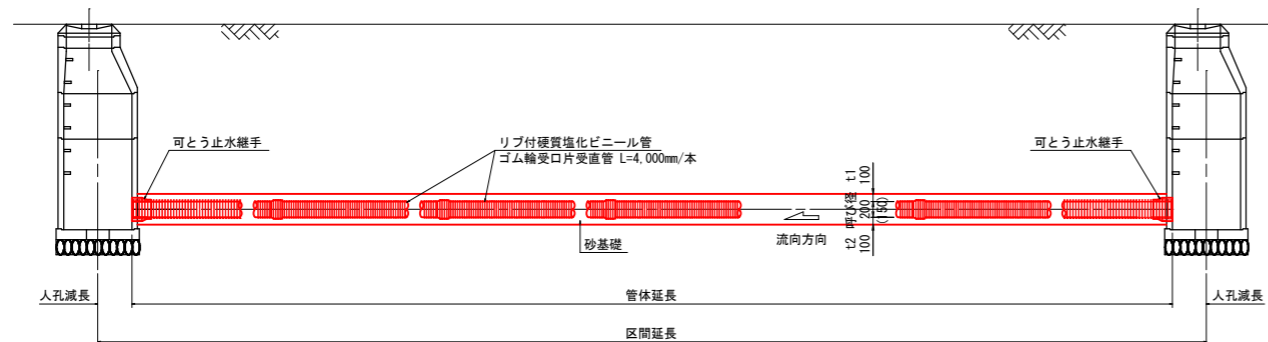
管渠布設側面図(A-A) S=1/50  
(PRP φ 400・450)



リップ付硬質塩化ビニール管寸法図 S=1/30



管渠布設側面図(B-B) S=1/50  
(PRP φ 200・150)

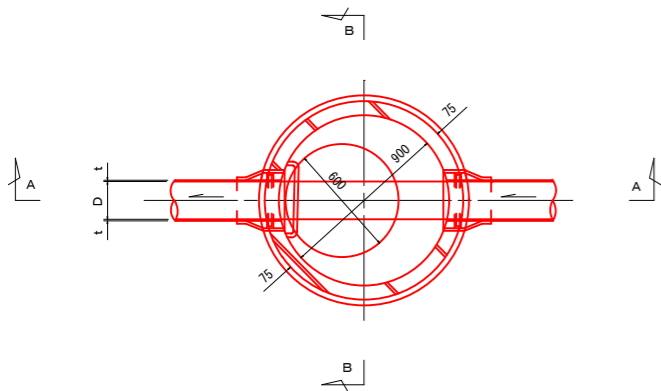


令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事(その2) (管路番号)			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S= 図示	
図面名	管渠布設工標準図			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				K-1
魚津市上下水道局上下水道課				

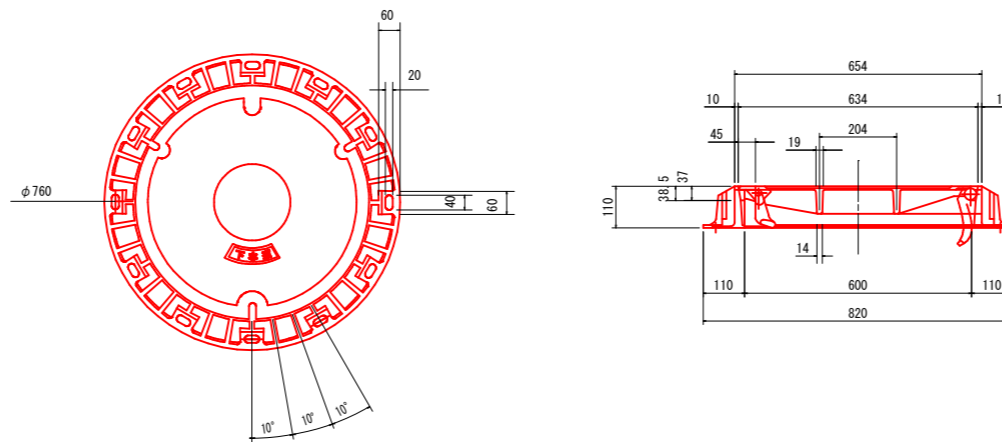


鴨川河川改修放水路工事に伴う  
 公共下水道管移設工事(その2) 組立マンホール構造図 S=図示  
 (1号マンホール)

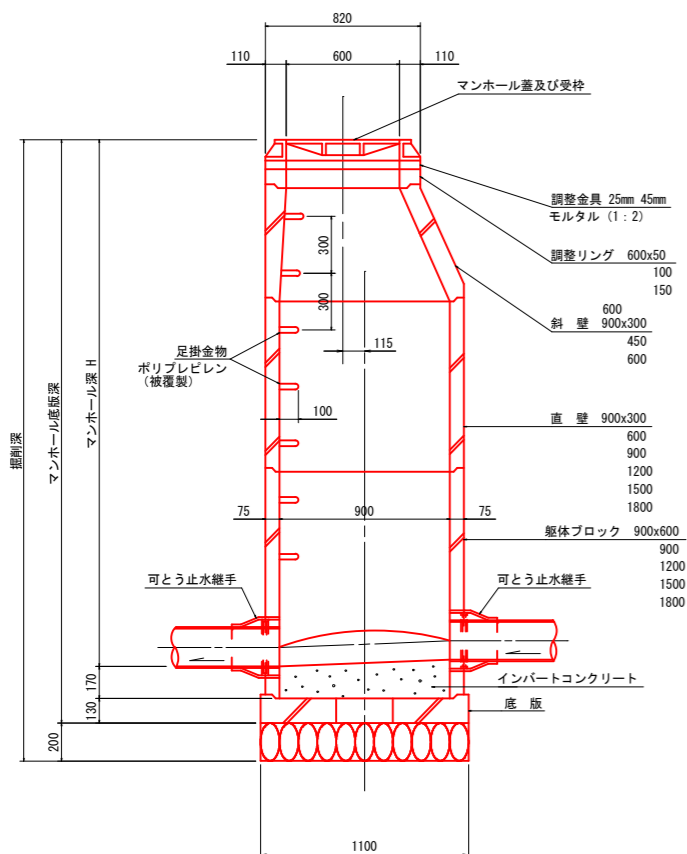
平面図 S=1/20



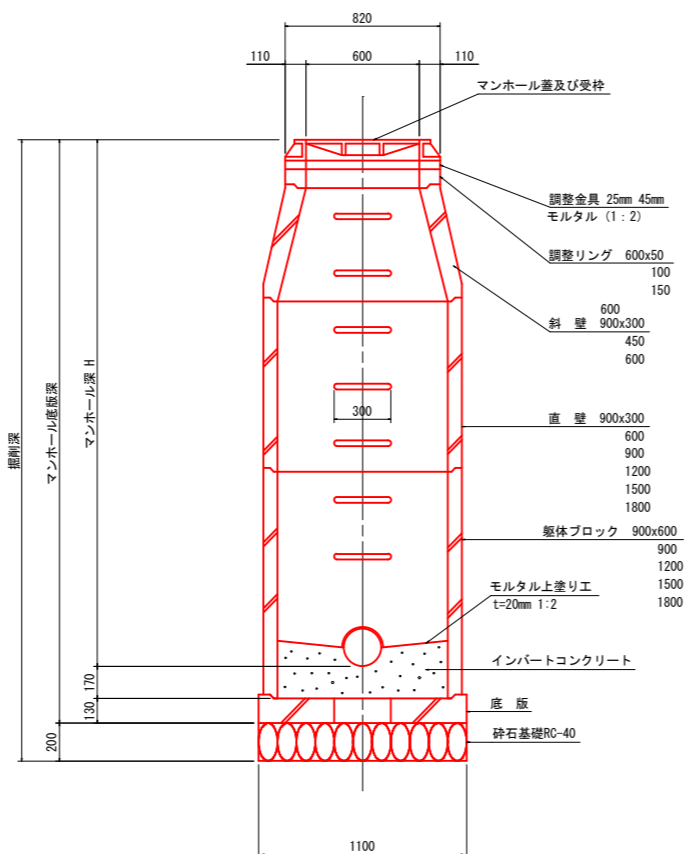
鉄蓋詳細図 S=1/10



A-A'断面図 S=1/20



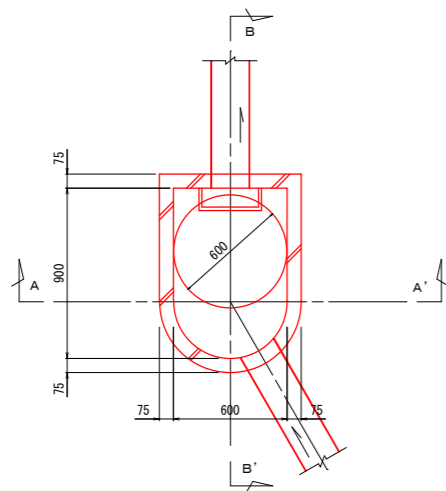
B-B'断面図 S=1/20



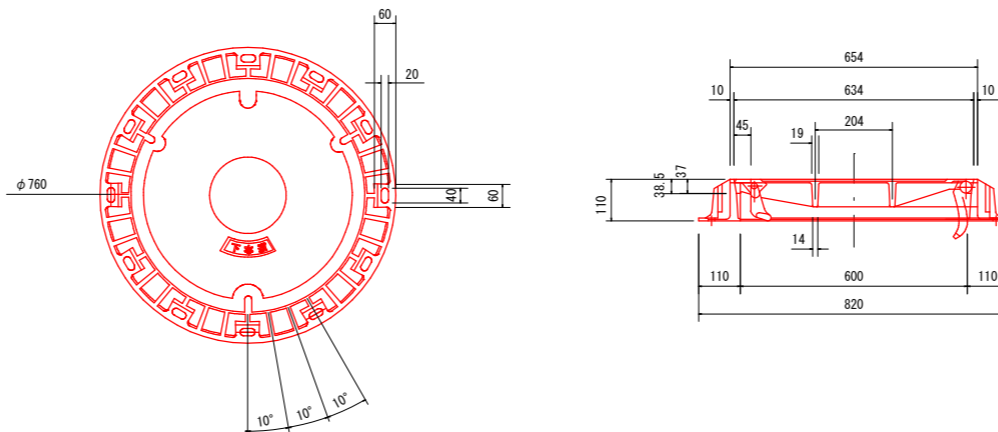
令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事(その2) (管路番号)			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S=図示	
図面名	組立マンホール構造図(1号M)			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				K-2
魚津市上下水道局上下水道課				

鴨川河川改修放水路工事に伴う  
 公共下水道管移設工事（その2） 組立マンホール構造図 S=図示  
 （特1号マンホール）

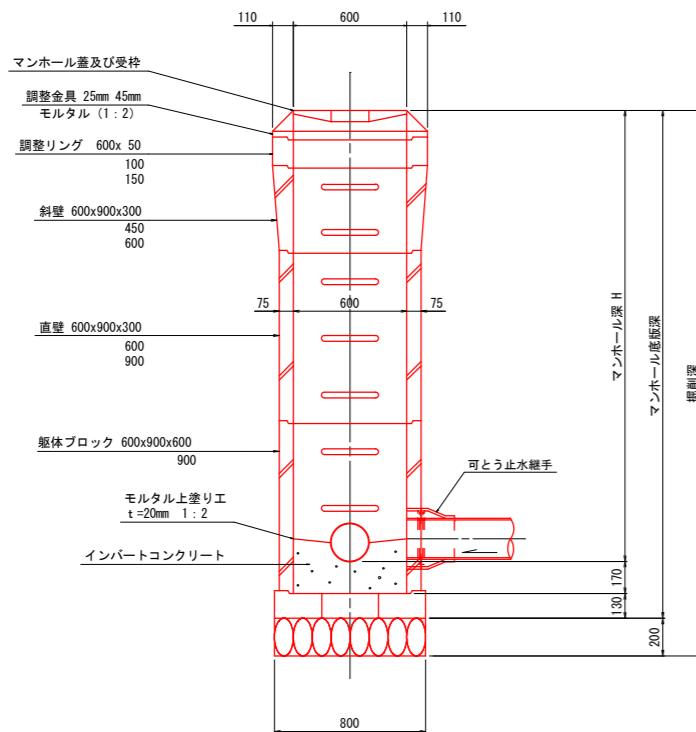
平面図 S=1/20



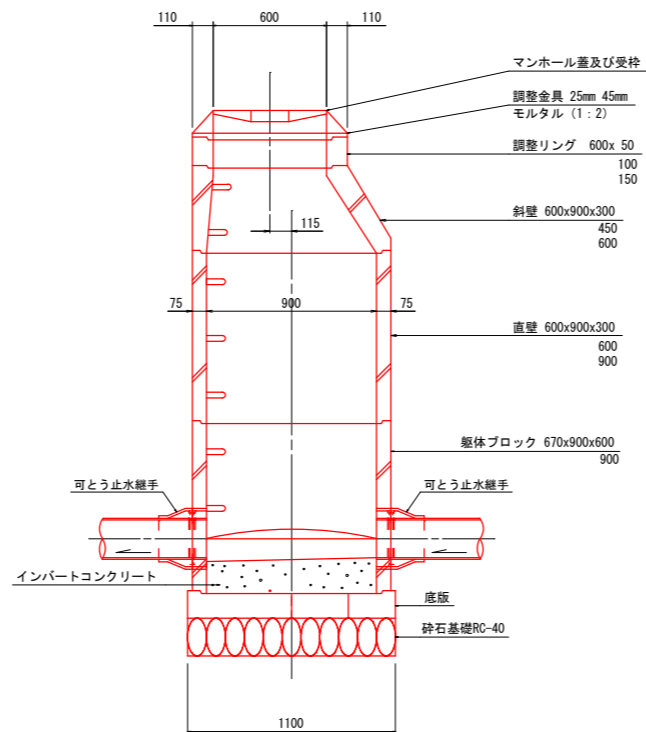
鉄蓋詳細図 S=1/10



A-A'断面図 S=1/20



B-B'断面図 S=1/20

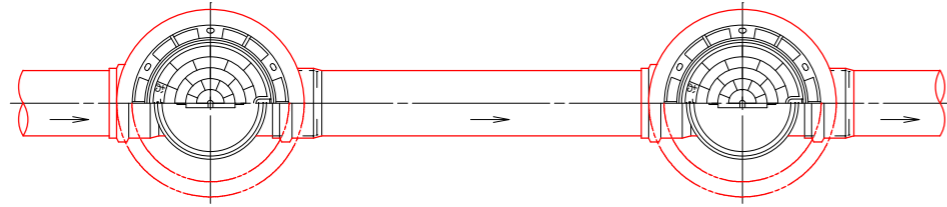


令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） （管路番号）			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S= 図示	
図面名	組立マンホール構造図(特1号M)			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				K-3
魚津市上下水道局上下水道課				

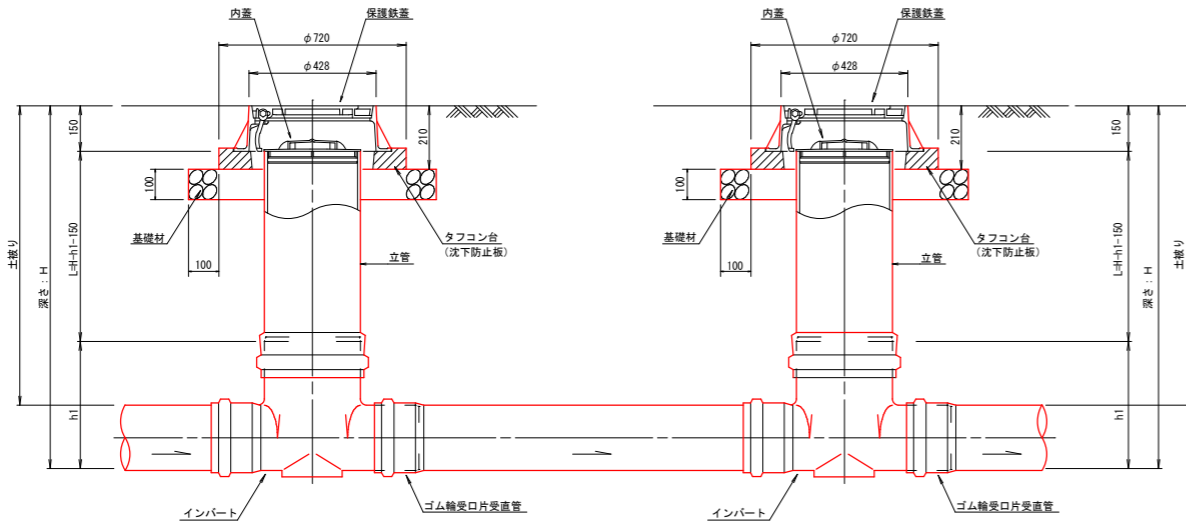
鴨川河川改修放水路工事に伴う  
公共下水道管移設工事（その2） 組立マンホール構造図  
(塩ビ製マンホール)

S=図示

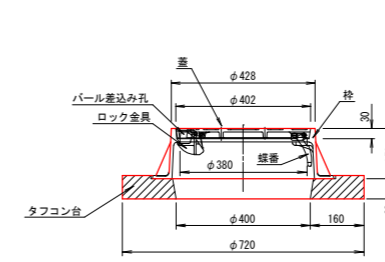
平面図



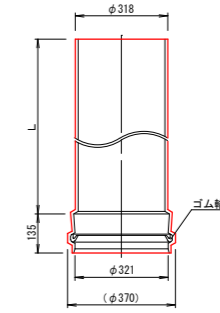
縦断面図



荷重用保護鉄蓋

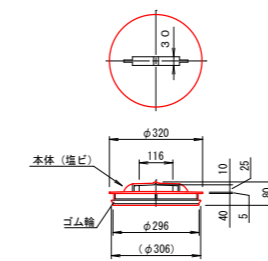


立管

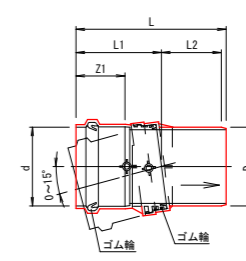


呼び	L (mm)
300x0.30	300
300x0.60	600
300x0.90	900
300x1.20	1200
300x1.50	1500
300x1.85	1850
300x2.55	2550

内蓋

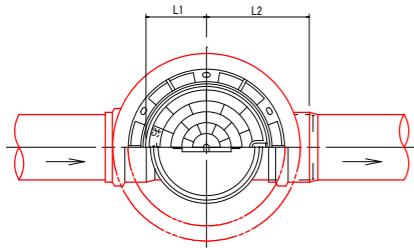


自在継手

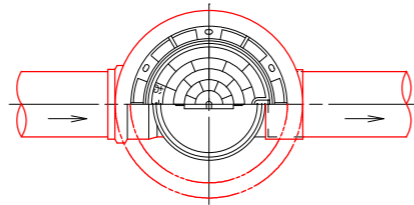


本管呼び径	d	D	L	L1	L2	Z1
150	166	165	335	190	135	110
200	218	216	413	235	165	135
250	270	267	491	280	195	155

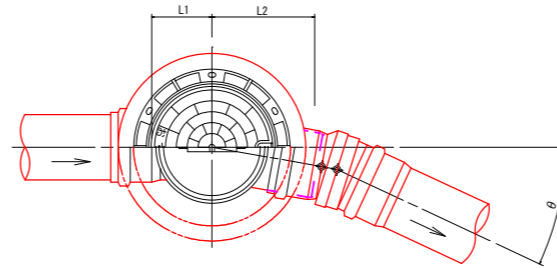
直線タイプ



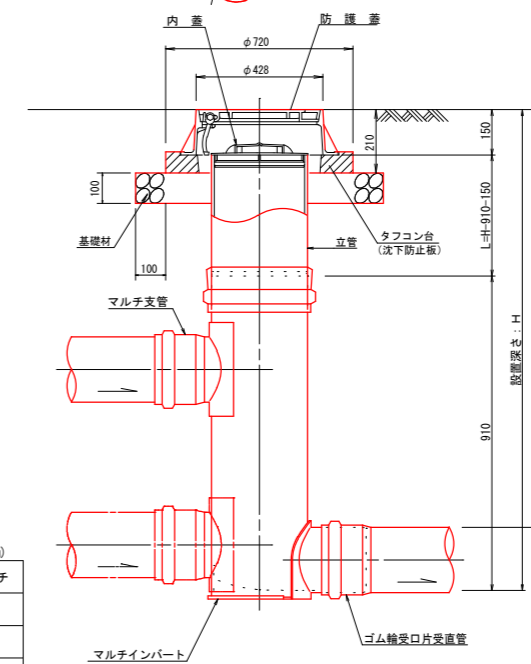
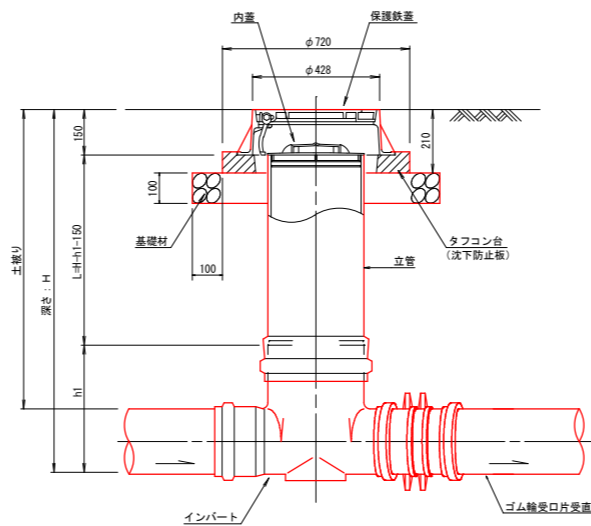
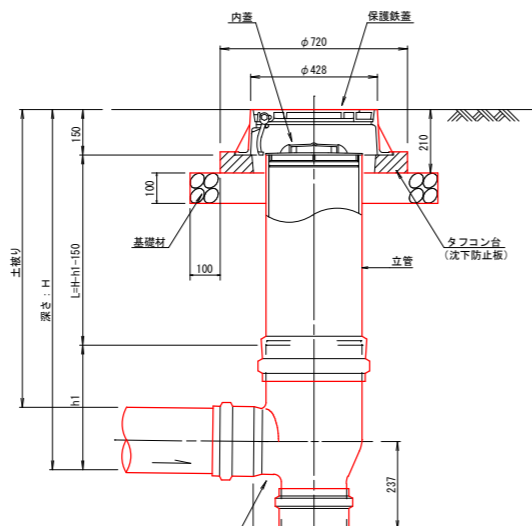
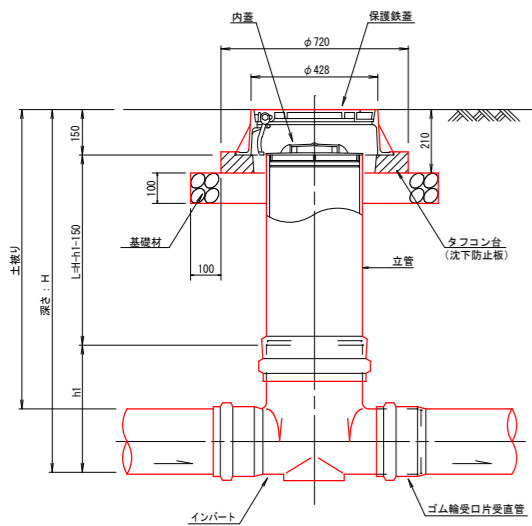
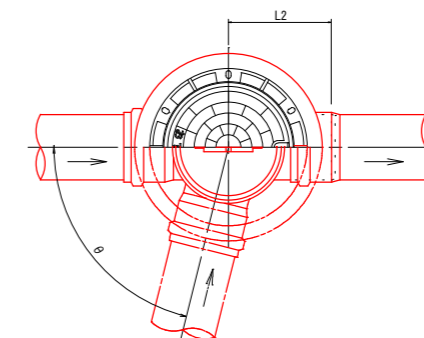
段差タイプ  
(ドロップ)



曲りタイプ



マルチタイプ

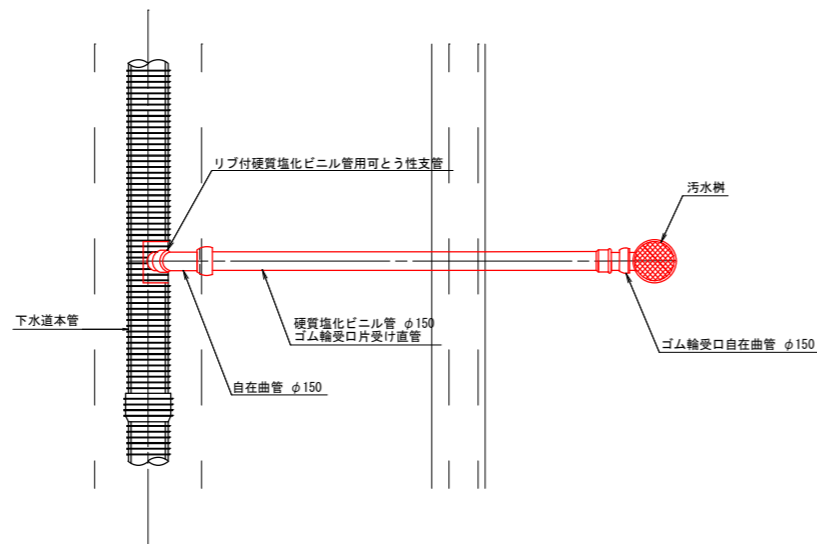


本管呼び径	蓋	インハ-h1	控除長h2
150	150	370	520
200	150	420	570
250	150	470	620

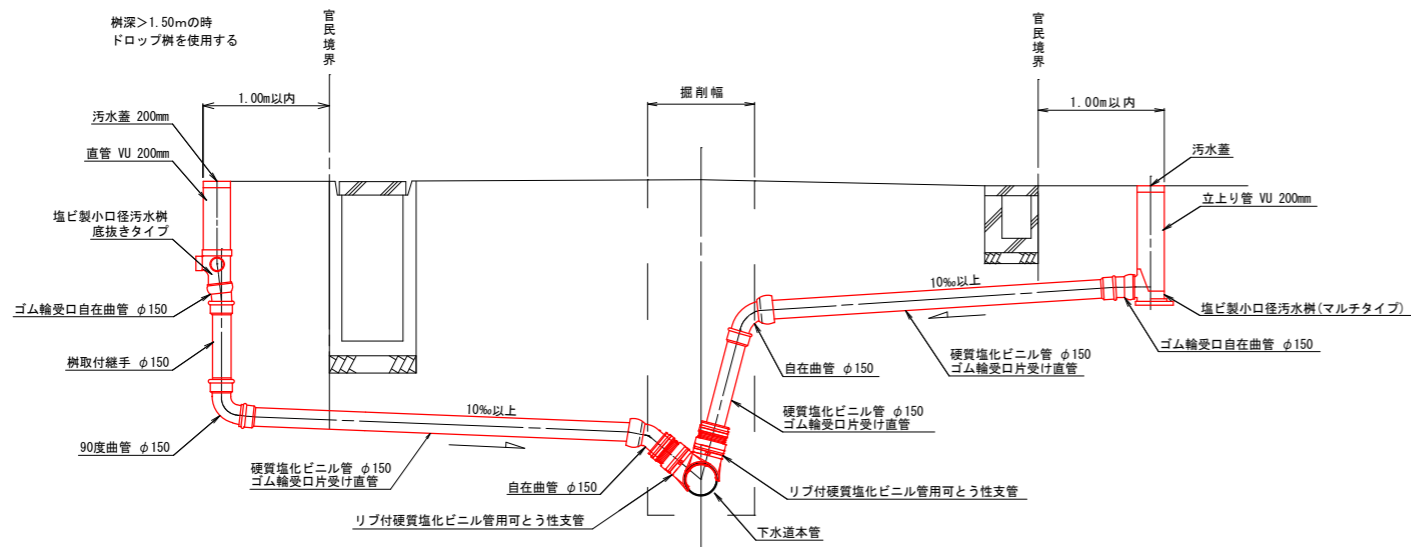
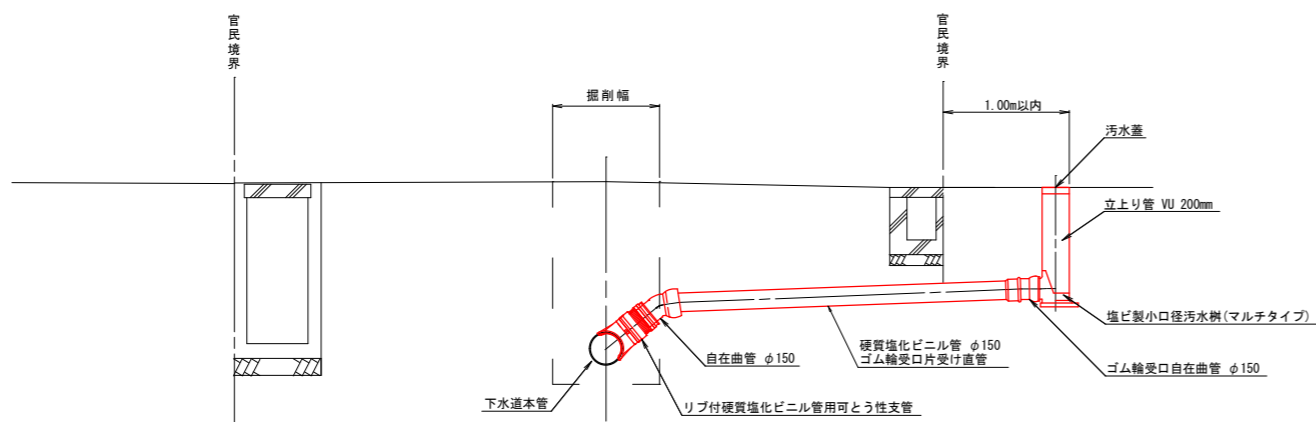
本管呼び径	ストレート		15°		30°		45°		60°		75°		90°		マルチ
	L1	L2	L1	L2	L1	L2	L1	L2	L1	L2	L1	L2	L2		
150	200	310	210	310	220	320	220	320	230	330	250	350	270	370	310
200	200	340	210	340	220	350	220	350	230	360	250	380	270	400	340
250	200	360	240	380	240	380	250	390	260	400	290	430	360	500	360

令和4年度			
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管路番号)		
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S=図示
図面名	マンホール構造図(塩ビ製M)		
課長	係長	設計	製図 図面番号
			K-4
魚津市上下水道局上下水道課			

平面図 S=1/20

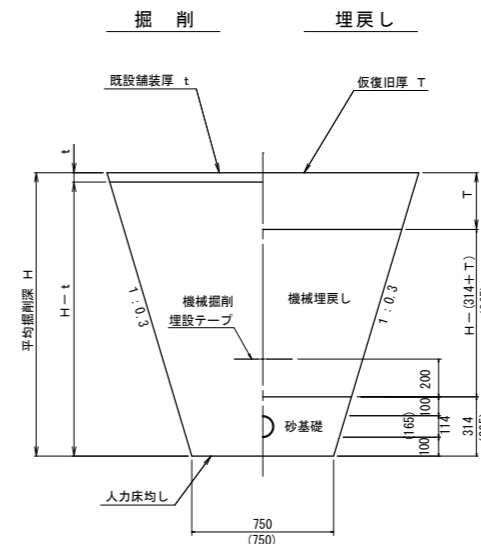


断面図 S=1/20

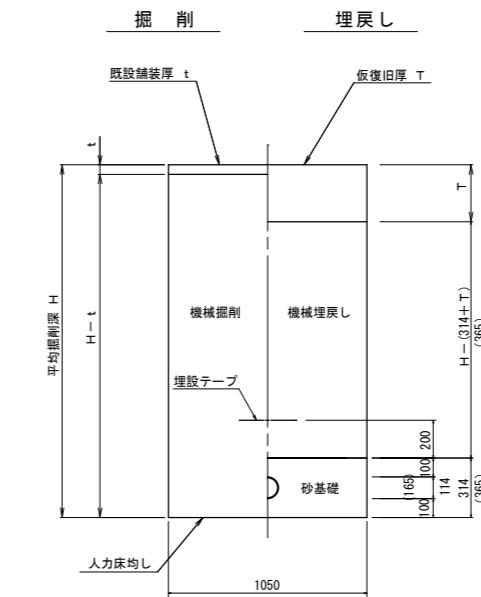


取付管土工図 S=1/20

掘削深 H<1.50m



掘削深 H ≥ 1.50m

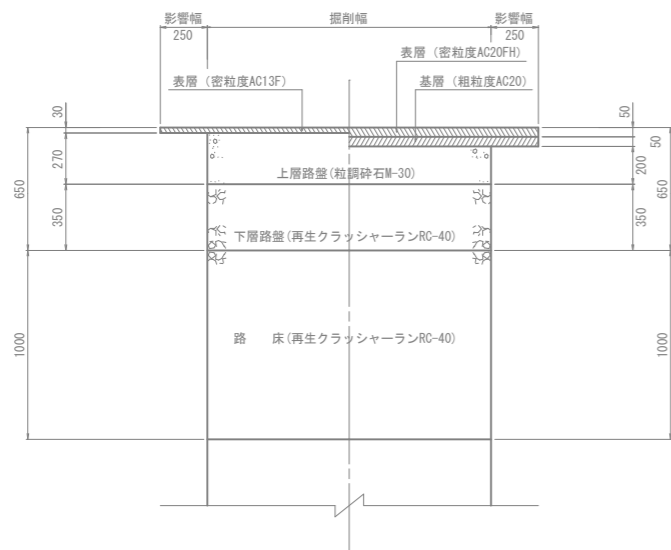


- 特記事項
- 1 支管は下水道本管の材質によって、使い分けること。
  - 2 汚水樹は各家屋並びに、地下水・側溝の状況に応じて使い分けること。
  - 3 消雪パイプ・側溝等の下で転圧が充分に出来ないところは、モルタル等を注入し不平等沈下しないようにすること。

令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管路番号)			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S= 図示	
図面名	取付管布設工標準図			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				K-5
魚津市上下水道局上下水道課				

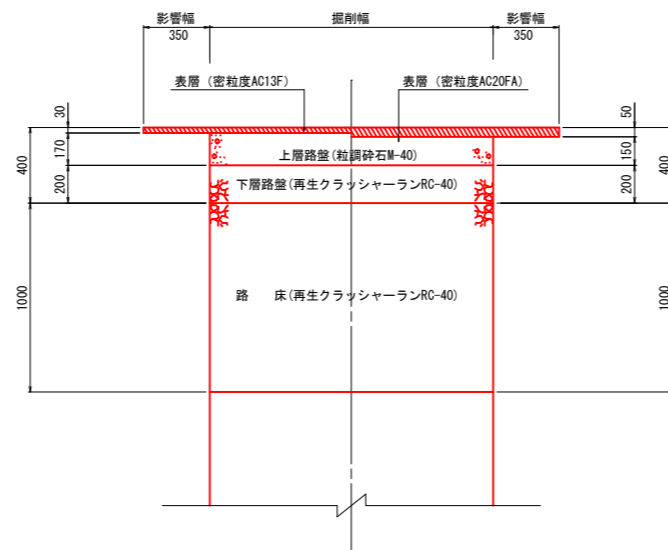
県道  
(旧B交通・設計CBR=12)

仮復旧 本復旧



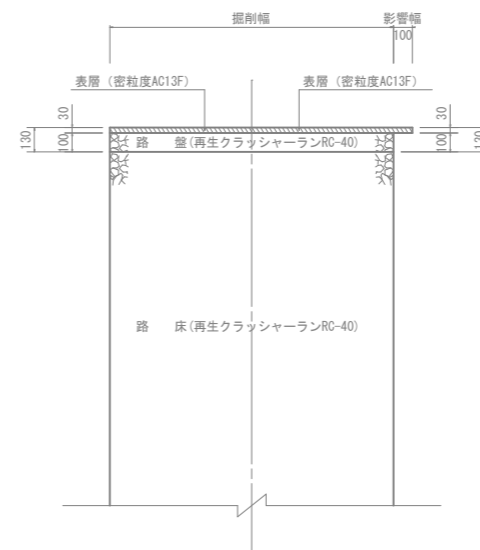
市道  
(旧L交通・設計CBR=3)

仮復旧 本復旧



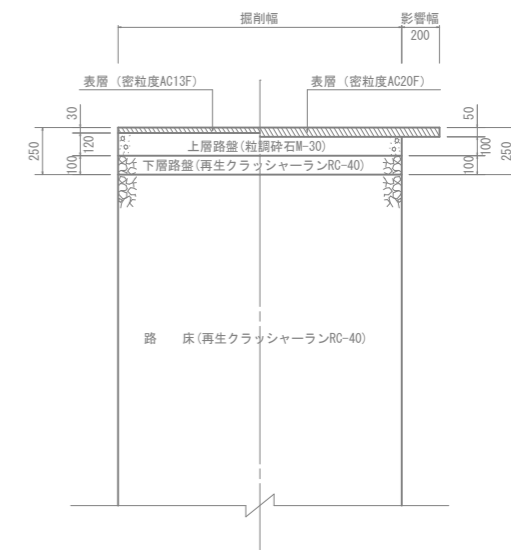
歩道

仮復旧 本復旧



歩道（自動車乗入口）

仮復旧 本復旧

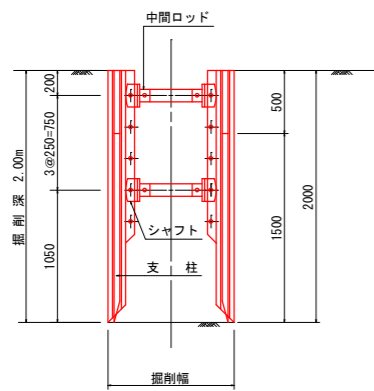


令和4年度			
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管路番号)		
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S= 1/20
図面名	舗装復旧標準図		
課長	係長	設計	製図
			図面番号
			K-6
魚津市上下水道局上下水道課			

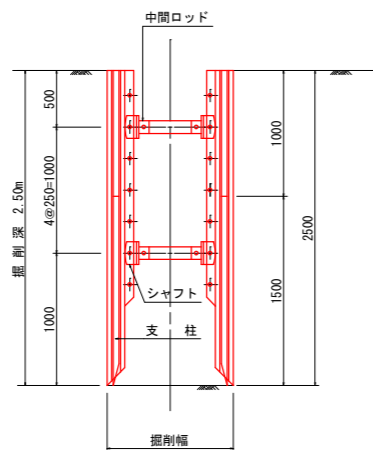
建込簡易土留工

断面図

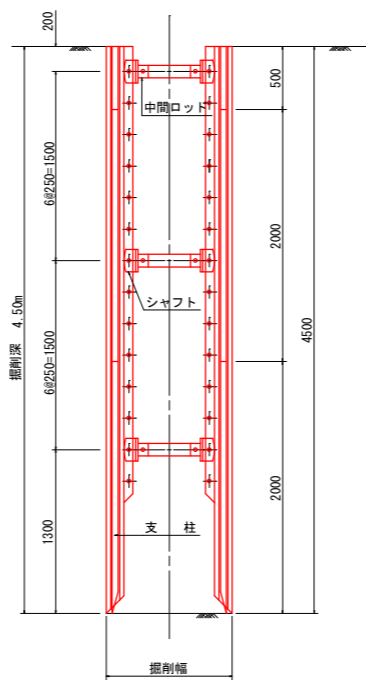
掘削深 2.00m以下



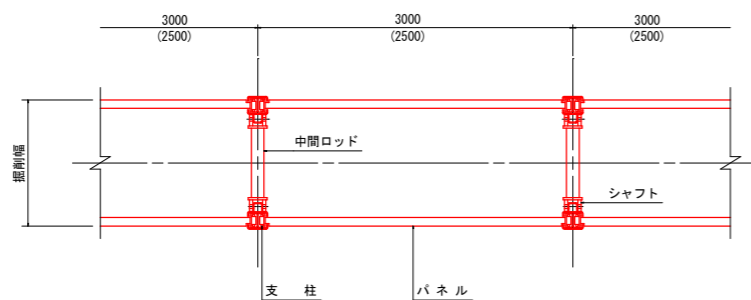
掘削深 2.50m以下



掘削深 4.50m以下



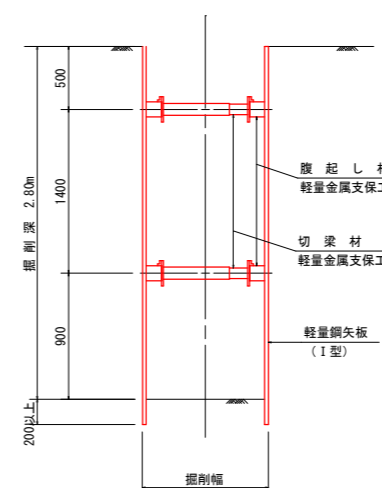
平面図



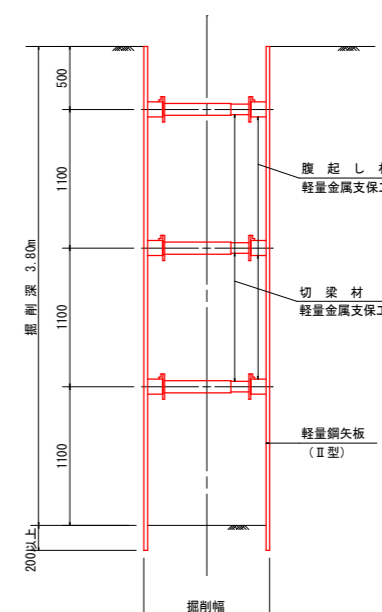
軽量鋼矢板土留工

断面図

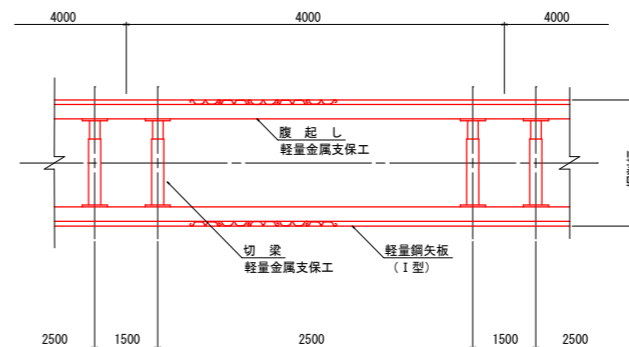
掘削深 2.80m以下



掘削深 3.80m以下



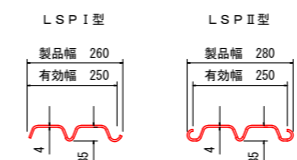
平面図



軽量鋼矢板設置基準

掘削深	支保工段数	腹起し	切梁	矢板
1.80m以上 2.30m未満	2 段	軽量金属 支保工	軽量金属 支保工	軽量鋼矢板 I 型
2.30m以上 2.80m未満				
2.80m以上 3.30m未満	3 段	軽量金属 支保工	軽量金属 支保工	軽量鋼矢板 I 型
3.30m以上 3.80m未満				

軽量鋼矢板標準図（参考図）



(参考重量)

型式	重量	
	矢板1枚当り (kg/m)	壁幅1枚当り (kg/m <sup>2</sup> )
LSP I 型	10.4	41.6
LSP II 型	11.8	47.2

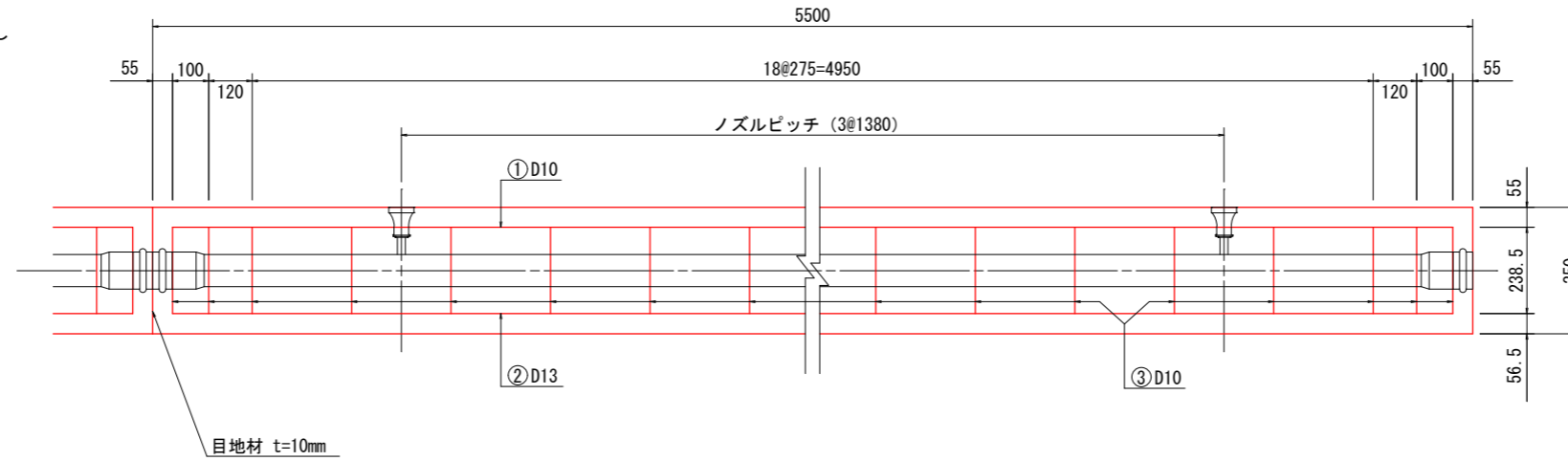
※注 使用する軽量鋼矢板は、土質により異なる。

令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管 路 番 号)			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S= 1/30	
図面名	土留工標準図			
課長	係長	設計	製図	図面番号 K-7
魚津市上下水道局上下水道課				

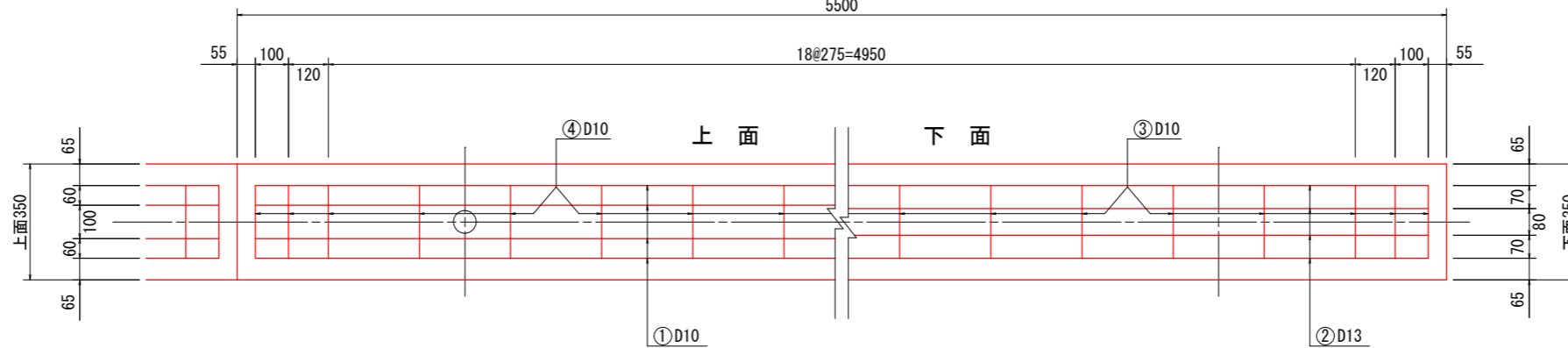
※参考図

設計条件	
設計輪荷重	50 kN
衝撃係数	i = 0.4
コンクリート強度	(30-8-25) $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリート 構造物の分類	小構造物 (I)
鉄筋の種類	(SD295A) <sub>2</sub> 180 N/mm

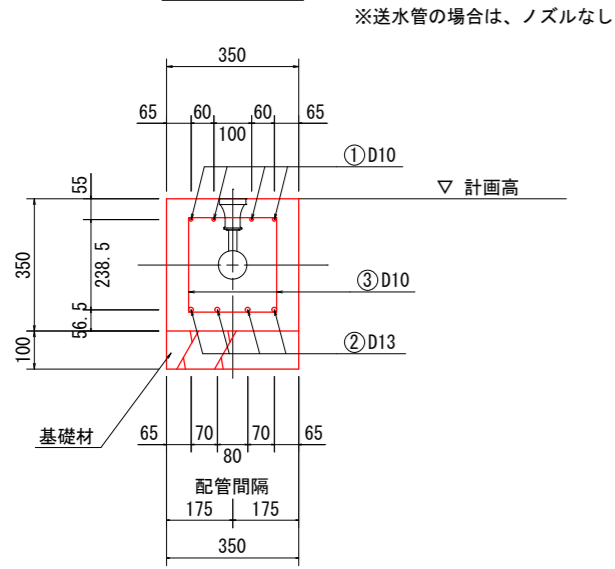
側面図



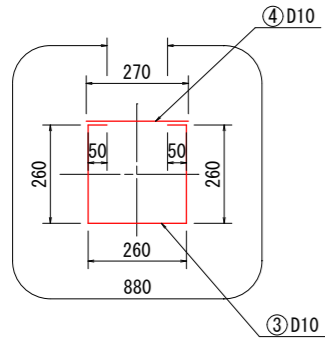
平面図



散水部



組立筋加工図



鉄筋表

5.50m当り

番号	鉄筋	本数	長さ mm	単位質量 kg/m	質量 kg	摘要
①	D 10	4	5,390	0.560	12.074	—
②	D 13	4	5,390	0.995	21.452	—
③	D 10	23	880	0.560	11.334	□
④	D 10	23	270	0.560	3.478	—
					D13	21.452 kg
					D10	26.886 kg
					合計	48.338 kg
※ 55.0m 当り				D13以下	483.380 kg	

（注）鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする

コンクリート等数量表

5.50m当り

名称	VP-65	VP-75	VP-100	VP-125	VP-150	摘要
全体面積 (A)	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	0.35 × 0.35 m <sup>2</sup>
パイプ断面積 (B)	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi d^2/4$ m <sup>2</sup>
実断面積 (C)	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	(A) - (B) m <sup>2</sup>
コンクリート体積 (D)	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	(C) × 5.50 m <sup>3</sup>
※コンクリート	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	(D) × 10 m <sup>3</sup>
※目地材	10ヶ所 (55.0m/5.50m) × 0.123m <sup>2</sup> = 1.23m <sup>2</sup>					t=10mm
※基礎材	0.35m × 55.0m = 19.25m <sup>2</sup>					t=100mm
※基面整正	0.35m × 55.0m = 19.25m <sup>2</sup>					

（注）※印 55.0m当り数量を示す。

【適用範囲】

1. 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
2. ジョイント部は、「散水消雪施設設計施工維持マニュアル（散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会）」によるとともに、「せん断」に対する対策を行っているものを使用する。
3. ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同様の強度があるものとする。
4. 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

【仕様】

1. 管の材料は、樹脂管 (VP) を標準とし、管径はVP65A~150A とする。
2. 基礎材は再生砕石 (RC-40) を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
3. 基礎材の厚さは10cm程度とする。
4. 地盤反力係数  $2 \times 10^5 \text{ kN/m}^3$  以上の地盤に適用する。  
(よく締め固められた砂混じり砂利)

令和4年度				
工事名	鴨川河川改修放水路工事に伴う 公共下水道管移設工事（その2） (管 路 番 号)			
工事場所	新金屋二丁目 地内	縮尺	S= 1/10	
図面名	消雪復旧工構造図			
課長	係長	設計	製図	図面番号
				K-8
魚津市上下水道局上下水道課				